

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：ハーブガーデン新十津川)

)

(全体総括)

新型コロナウイルスの近隣の陽性者数を見極めながら館外、館内ともに感染予防対策を十分に施したうえで、できる限り面会や外出が可能となるよう状況に合わせた対応を検討した。入居者の精神的ストレスや活動不足などによる心身機能低下を防ぐため運動や外出行事、レクリエーション等をできる限り提供することができた。入居者1名が陽性となったが徹底的なゾーニングを行い、かろうじて感染拡大を防ぐことができた。また、2月に入居者全員の3回目ワクチンを訪問接種で実施済み。引き続き感染防止対策を継続しつつ北海道（特に空知管内）の感染状況をリアルタイムで確認しながら柔軟に対応していく。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
歩行能力の低下が退去へ繋がっている	歩行速度が上がる	TUG13～15秒台の利用者の歩行速度Up。	パワーリハビリは近隣のコロナ陽性者数状況により実施できない期間が多かった。結果、高齢であるほど効果が現れやすいと分析される。その他ケア利用者については介護予防にジョイスOUNDを活用した効果的な運動を日常的に実施している。 TUG 特定男性A 12月：13.21 3月：16.00 特定男性B 12月：13.2 3月：11.26 特定女性 12月：18.16 2月：18.68 ケア 10名UP うち13～15秒 5名UP	歩行能力の維持向上を実現させるためハーブガーデンの入居者の状態をタイムリーに把握しそれに合わせた取り組みを継続していく。
認知機能低下が退去へ繋がっている	認知機能の維持向上	長谷川式25点以下MMSE24点以下の利用者の点数Up	特定利用者2名MMSEは継続して取り評価を行っている。 特定男性A 11月：21点 2月未実施 特定男性B 入居時：27点 3月：24点 特定女性 9月：22点 1月22点 ケアハウス M氏 11月：20点 3月：24点 S氏 11月：26点 3月：27点 N氏 11月：20点 3月：20点	認知機能の維持向上を実現させるためハーブガーデンの入居者の状態をタイムリーに把握しそれに合わせた取り組みを継続していく。

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：ハーブガーデン新十津川

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
給食会議	R4.1.13	施設長、西島、和泉、塚田	・ 食事の振り返り ・ 行事食について ・ 残菜調査報告
給食会議	R4.2.10	施設長、西島、和泉、塚田	・ 食事の振り返り ・ 行事食について ・ 残菜調査報告
給食会議	R4.3.10	施設長、西島、和泉、塚田	・ 食事の振り返り ・ 行事食について ・ 残菜調査報告
職員会議	R4.1.14	施設長、高橋、西島、有澤、美濃	・ アメーバ採算改善について ・ その他
給食会議	R4.2.10	施設長、西島、和泉、塚田	・ 食事の振り返り ・ 行事食について ・ 残菜調査報告
職員会議	R4.2.11	施設長、荒木、西島、有澤、下口	・ アメーバ採算改善について ・ その他
職員会議	R4.3.15	施設長、高橋、荒木、西島、有澤、下口、鹿島	・ 明和会理念、ハーブガーデン令和5年度事業計画について ・ アメーバ採算改善について
ケアカンファレンス	R4.1.25	高橋、西島、有澤、下口、鹿島、青山	・ 特定利用者18名のサービス内容について ・ ケア入居者について
ケアカンファレンス	R4.2.28	施設長、高橋、西島、有澤、下口、鹿島、青山、荒木、美濃、笹、千葉、中川、府栄野、石橋	・ 特定利用者19名のサービス内容について ・ ケア入居者について
ケアカンファレンス	R4.3.10	荒木、西島、有澤、下口、鹿島、美濃、笹	・ 特定利用者20名のサービス内容について ・ ケア入居者について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
事故予防委員会	R4.1.28	施設長、荒木、高橋	・ 12月ヒヤリハット報告 ・ 12月事故報告について
事故予防委員会	R4.2.24	施設長、荒木、高橋	・ 1月ヒヤリハット報告 ・ 1月事故報告について
事故予防委員会	R4.3.25	施設長、荒木、高橋、下口	・ 2月ヒヤリハット報告 ・ 2月事故報告について
感染対策委員会	R4.1.26	施設長、有澤、西島、橋	・ コロナウイルス感染予防対策について ・ 手洗いチェックについて ・ インフルエンザについて
感染対策委員会	R4.2.28	高橋、荒木、西島、鹿島	・ コロナウイルス感染予防対策について
臨時感染対策委員会	R4.3.18	施設長、有澤、西島	・ まん延防止等措置解除後の対策について
感染対策委員会	R4.3.28	施設長、有澤、西島、橋	・ コロナウイルス感染予防対策について ・ 令和3年度の反省
身体拘束及び虐待防止委員会	R4.4.20	施設長、高橋、岡部	・ 身体拘束及び虐待の有無確認 ・ 身体拘束及び虐待防止委員会規程確認 ・ 令和2年度身体拘束及び虐待防止委員会反省
身体拘束及び虐待防止委員会	R4.7.7	施設長、高橋、荒木	・ 身体拘束及び虐待の有無確認 ・ ナースコール時の対応について
身体拘束及び虐待防止委員会	R4.10.21	施設長、荒木、有澤、岡部、下口、笹	・ 身体拘束及び虐待の有無確認 ・ 虐待防止研修の報告及び内部研修会（笹）
身体拘束及び虐待防止委員会	R4.1.31	施設長、高橋、荒木	・ 身体拘束及び虐待の有無確認 ・ 認知症の方への対応について
身体拘束及び虐待防止委員会	R4.3.25 R4.3.28	施設長、高橋、西島、有澤、府栄野、荒木、中川	・ 身体拘束及び虐待の有無確認 ・ 認知症の方への対応について

令和3年度（1月～3月） 行事 事業所名：ハーブガーデン新十津川

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
初詣	R4.1.1	6名	施設長、有澤、利用者4名
新春映画上映会	R4.1.1～ R4.1.3	39名	有澤、利用者37名
カラオケレク	R4.1.5	37名	有澤、中川、利用者35名
温泉の日	R4.1.7	25名	高橋、府栄野、利用者23名
買い物バス	R4.1.12	10名	千葉、美濃、利用者8名
新年会	R4.1.15	65名	職員全員（15名） 利用者44名
特定レク	R4.1.19	9名	下口、笹、利用者7名
運動レク	R4.1.26	30名	千葉、美濃、利用者28名
書道クラブ	R4.1.28	4名	美濃、利用者3名
運動レク	R4.2.2	34名	有澤、府栄野、利用者32名
節分レク	R4.2.3	49名	荒木、青山、中川 利用者46名
ランタン作成	R4.2.2 R4.2.4	22名	西島、下口、千葉 利用者19名
書道クラブ	R4.2.23	4名	美濃、利用者3名
ランタン点灯式	R4.2.25	食堂から鑑賞	下口、府栄野、利用者
イベント食	R4.2.26	50名	西島、高橋、利用者48名
運動レク	R4.3.15	32名	高橋、笹、利用者30名
特定レク	R4.3.16	12名	青山、府栄野、利用者10名
書道クラブ	R4.3.21	4名	美濃、利用者3名
百人一首	R4.3.23	19名	中川、笹、橋、利用者16名
文京区会館清掃	R4.3.26	8名	荒木、利用者7名
買い物バス	R4.3.29	10名	下口、千葉、利用者8名
館内レク	R4.3.30	35名	有澤、荒木、美濃 利用者32名

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：リハヒーリング・ハーブ)

(全体総括)

運営ビジョン：パワーリハビリで脳梗塞以前の生活を取り戻す
 運営方針：脳梗塞の障害改善に特化する・効果のPRをする・人材の採用と育成（介護職員からトレーナーへ）

コロナ禍により医療機関、関係機関との連携が難しく、脳梗塞の新規利用者の獲得が目標水準に達していない。出来る限りSNSでの配信、会議、訪問での動画による取り組みの紹介、効果の配信を行っている。「脳梗塞と言えば」と言う、当事業所のブランド力を配信するために、リハビリの質を向上させ、事例を撮る、事例を配信することに更に力を入れる。また、職員の退職などもあり、内部の体制が弱まった部分をしっかり整備し、スタッフひとり一人の指導力、説明力のスキルを向上させる。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
脳梗塞の方の契約が少ない。	脳梗塞の方の契約数	24名/年 (月2名以上)	1月 0名 2月 1名 3月 1名 計16名 年間契約数 計29名	<ul style="list-style-type: none"> リハビリの質を向上 事例を撮る。 事例を配信する。
	脳梗塞特化日の利用数	20名 (1単位の定員数)	1月 0名 2月 1名 3月 4名 登録数12名	<ul style="list-style-type: none"> 居宅支援事業所との連携強化 関係機関への取り組み配信強化
脳梗塞に焦点を当てた専門性の高い指導者の育成と採用	卒業者数または、介護度改善者数	8名 (R2年度は2名卒業)	1月1名(介護1→支援2) 2月1名(支援2→支援1) 3月0名 R3年度改善者 8名 R3年度卒業者 4名	短期間で確実な改善を出すため集中的なリハビリの提供を行う。
	新規採用者	スポーツ専門学校生1名の採用	・吉田学園スポーツ学科から1名採用	<ul style="list-style-type: none"> 指導力、説明力のスキルを向上。 内部配置の見直しを行う。

【運営報告】

事業所名： リハビリング・ハーブ

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		880	840	880	880	880	880	840	880	840	760	800	920	10,280
延利用人数	R2	391	391	469	469	459	518	542	453	458	405	528	514	5,597
	R3	514	437	468	526	554	539	514	562	520	438	400	480	5,952
稼働率	R2	44.4%	46.5%	53.3%	53.3%	52.2%	58.9%	64.5%	51.5%	54.5%	53.3%	66.0%	55.9%	54.5%
	R3	58.4%	52.0%	53.2%	59.8%	63.0%	61.3%	61.2%	63.9%	61.9%	57.6%	50.0%	52.2%	57.9%
事業活動収入計	R2	2,201	2,178	2,359	2,632	2,581	2,995	4,075	2,812	2,538	2,311	2,386	1,880	30,948
	R3	2,748	2,609	2,594	2,901	3,108	2,902	2,914	3,009	2,961	2,661	2,416	2,640	33,463
	R3 (フィット トネス)	65	24	17	69	52	31	48	47	38	47	14	16	467
当期資金収支差額		-370	-512	-275	-204	183	-33	7,775	-193	-1,428	-538	-739	-1,185	2,481
職員数	40時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-
	パート	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12	-

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：リハヒーリング・ハーブ

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
全体ミーティング	R4.1.25	有馬、田中由 貝森、本間	1.報告・連絡事項（担当者会議、お試し新規利用者、利用終了者について、事故ヒヤリハット報告） 2.検討事項 3.感染・事故対策委員会より 4.部門ミーティング（収入・収支部門報告） 5.ポイントカードの導入について、SDGS取り組みについて
全体ミーティング	R4.2.22	有馬、奈良 本間、田中 前田	1.報告・連絡事項（担当者会議、お試し新規利用者、利用終了者について、事故ヒヤリハット報告） 2.検討事項 3.感染・事故対策委員会より 4.部門ミーティング（収入・収支部門報告） 5.2/25空知老施協 デイ部会WEB研修について
全体ミーティング	R4.3.15	有馬、奈良 田中由、貝森 本間、前田	1.報告・連絡事項（担当者会議、お試し新規利用者、利用終了者について、事故ヒヤリハット報告） 2.検討事項（吉田職員OJTについて） 3.感染・事故対策委員会より 4.部門ミーティング（収入・収支部門報告） 5.ビジネス用に酸素ボックス利用のポスター作成

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染対策委員会	R4.1.25	有馬、田中由 貝森、本間	・地域感染症状況について ・新型コロナウイルスについて 車両時の検温確認の徹底 各居宅事業所より感染状況の把握に努める 不要不急の外出や移動を控える
感染対策委員会	R4.2.22	有馬、奈良 本間、田中 前田	・地域感染症状況について ・新型コロナウイルスについて オミクロン株に関する情報共有 コロナワクチン3回目接種（職員：栄町眼科にて接種） 手洗い・うがい・マスク・水分摂取の声掛け継続
感染対策委員会	R4.3.15	有馬、奈良 田中由、貝森 本間、前田	・地域感染症状況について ・新型コロナウイルスについて コロナワクチン3回目接種（職員接種） 室内温度・湿度の確認 手洗い・うがい・マスク・水分摂取の声掛け継続
事故再発防止委員会	R4.1.25	有馬、田中由 貝森、本間	・1月インシデント及び事故状況集計結果に基づき 事業所毎の傾向から再発防止に向けた話し合い
事故再発防止委員会	R4.2.22	有馬、奈良 本間、田中 前田	・2月インシデント及び事故状況集計結果に基づき 事業所毎の傾向から再発防止に向けた話し合い
事故再発防止委員会	R4.3.15	有馬、奈良 田中由、貝森 本間、前田	・3月インシデント及び事故状況集計結果に基づき 事業所毎の傾向から再発防止に向けた話し合い
第三者委員会	R4.1.25	有馬、田中由 貝森、本間	・利用者からの苦情及び虐待に関する直接受付に 向けた整備 ・苦情受付簿確認、件数0件)
災害対策委員会	R4.2.22	有馬、奈良 本間、田中 前田	・災害備蓄品についての確認
身体拘束・虐待・苦情委員会	R4.3.15	有馬、奈良 田中由、貝森 本間、前田	・事業所における身体拘束・虐待・苦情に関する 現状の情報共有 ・サービス向上へ繋げるための具体的な取り組み ・身体拘束廃止に関する指針について

令和3年度（1月～3月） 研修

事業所名：リハヒーリング・ハーブ

研修

研修名	実施日	参加者	内容
空知老人福祉施設協議会 デイサービスセンター一部会研修会	R4.2.25	有馬・貝森 本間	インカム (buddycom)、送迎支援システム (らくびた送迎)

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：グループホーム陽だまりの郷)

(全体総括)

運営状況として2月にさくらユニットで新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、職員不足の状況の中、事業運営が通常どおりできなくなり対応が大変であった。また、物品の整備・補充、職員の体調管理などの課題が見え、迅速な対応や整備の必要で苦慮したことが多かった。感染症発生時の法人の協力体制など次年度は見直しが必要であると考え。稼働に関して2名の入居者が末期の悪性腫瘍治療の為、2月末日で退所され2月・3月はクラスターと重なり入居支援ができず3月に1名のみの入居となった。年間を通しての稼働は1月～3月の稼働が低下した為、年間稼働率96.3%であった。事業計画では年間を通して、退職者1名であった。課題・重点に対しては各ユニット目標で達成できるよう毎日の目標に重点事項を加味させて取り組んだが、職員間での関係性が薄くコロナ禍で職場外交流が難しく、コミュニケーションなどの交流が希薄だった。次年度は職員交流事業などコロナ禍で工夫をして取り組んでいく

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
職員の間が明るく元気に仕事ができるように環境を整える。	退職者数	0名	1名	離職者を減らす取り組みを継続する。また、新入職員の育成サポートをユニットをあげて行う。

【運営報告】

事業所名： グループホーム陽だまりの郷

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		540	558	540	558	558	540	558	540	558	558	504	558	6,570
延利用人数	R2	538	536	526	532	548	531	533	529	542	558	504	491	6,368
	R3	503	531	528	541	554	540	558	536	549	557	433	491	6,321
稼働率	R2	99.6%	96.1%	97.4%	95.3%	98.2%	98.3%	95.5%	98.0%	97.1%	100.0%	100.0%	88.0%	97.0%
	R3	93.1%	95.2%	97.8%	97.0%	99.3%	100.0%	100.0%	99.3%	98.4%	99.8%	85.9%	88.0%	96.1%
事業活動収入計	R2	6,591	6,712	6,607	6,669	6,894	6,687	7,529	6,717	7,217	7,127	6,436	6,733	81,918
	R3	6,586	6,819	6,779	6,936	7,086	6,945	7,237	6,979	7,266	7,221	11,681	6,442	87,977
当期資金収支差額		-1,349	-1,107	-654	-859	-323	-417	-270	-825	-1,630	-677	3,949	-8,561	-12,723
職員数	40時間	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	11	-
	パート	6	6	6	6	6	6	8	8	8	10	10	8	-

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：グループホーム陽だまりの郷

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
陽だまりの郷 全体会議	R4.1.17	安部、浅野、鍵市、高橋瞳、山口、堀口、高橋良、杉原、後藤	感染対策、近隣の感染状況について、陽だまりの郷（残業時間、水道光熱費実績報告）、今月・次月の予定、係長より報告、各ユニットからの報告、各係・委員会からの報告・その他
陽だまりの郷 全体会議	R4.2.7	紙面報告（全職員）	感染症の蔓延と対策について、グループホームの面会について、陽だまりの郷（残業時間、水道光熱費実績報告）、今月・次月の予定、係長より報告、各ユニットからの報告、各係・委員会からの報告・その他
陽だまりの郷 全体会議	R4.3.7	紙面報告（全職員）	次年度の体制・組織について、陽だまりの郷（残業時間、水道光熱費実績報告）、今月・次月の予定、係長より報告、各ユニットからの報告、各係・委員会からの報告・その他
さくら会議	R4.1.18	安部、鍵市、高橋瞳、堀口、得能、曾我部、山口	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメンバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
さくら会議	2月会議書面報告	安部、鍵市、高橋瞳、堀口、得能、曾我部、山口	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメンバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
さくら会議	3月会議書面報告	安部、鍵市、高橋瞳、堀口、得能、曾我部、山口	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメンバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
あじさい会議	R4.1.12	安部、浅野、高橋良、高橋ゆ、後藤、堀口、吉井	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメンバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
あじさい会議	2月会議書面報告	安部、浅野、竹内、高橋ゆ、後藤、堀口、吉井、佐藤百	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメンバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ
あじさい会議	3月会議書面報告	安部、浅野、竹内、高橋ゆ、後藤、堀口、吉井	モニタリング、業務報告、連絡、検討。アメンバー経営について、行事評価、計画、次月予定打ち合わせ

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
食事係	R4.1.12	小玉、古瀬千、山口、堀口	献立の担当について、食事について、喫茶レクについて、旬の食材の確認、お米の使用について
食事係	R4.3.7	安部、古瀬千、高橋瞳、堀口	献立の担当について、食事について、喫茶レクについて、旬の食材の確認、年度の反省
感染対策委員会	R4.1.12	小玉、禎島、浅野、鍵市	12月陽だまりの郷の感染状況、近隣の感染状況の把握、係長より報告事項、その他報告事項、研修の打ち合わせ
感染対策委員会	R4.2.7	小玉、安部、禎島、浅野、鍵市	1月陽だまりの郷の感染状況、近隣の感染状況の把握、係長より報告事項、その他報告事項
感染対策委員会	紙面報告		2月陽だまりの郷の感染状況、近隣の感染状況の把握、係長より報告事項、その他報告事項
身体拘束適正化委員会	R4.3.11	小玉、安部、竹内、禎島、後藤、山下	施設の身体拘束報告状況、3月の身体拘束研修の内容打ち合わせ
身体拘束適正化委員会	R4.3.31	安部、竹内、禎島、後藤、山下	今年度の反省と次年度に向けての課題
リスクマネジメント委員	R4.1.14	小玉、竹内、禎島、後藤、山下	12月事故、気づきの報告書について、見守り、確認強化月間について、冬季の事故のリスクを回避する為の取り組みについて
リスクマネジメント委員	R4.3.11	安部、竹内、山下、禎島、後藤	2月3月の事故、気づきの報告書について、見守り、確認強化月間について、年間リスク委員会活動評価について、次年度への引継ぎについて
ボランティア、互助会会議	R4.3.1	安部、曾我部、高橋良、前田	退職者のお別れ会の予定、計画、3月の予定の打ち合わせ
車輛防災委員会	R4.1.11	小玉、古瀬健、鍵市、高橋良	各車両状況、冬道運転の注意について、他確認事項（車輛・防災関係）冬季に向けての施設管理について
車輛防災委員会	R4.3.30	安部、古瀬健、植木、高橋良	各車両状況、事故車両修理の報告、フロントガラスの破損について、その他確認事項（車輛・防災関係）、車輛研修について、今年度の反省と次年度への引継ぎについて

令和3年度（1月～3月） 研修

事業所名：グループホーム陽だまりの郷

研修

研修名	実施日	参加者	内容
陽だまりの郷全体研修 「食事係による研修」	R4.1.17	安部、浅野、鍵市、高橋瞳、山口、堀口、高橋良、杉原、後藤	調理での衛生管理、調理方法、食中毒についての知識と予防方法について、グループワーク
陽だまりの郷全体研修 「車両防災係による研修」(zoom)	R4.3.15	安部、浅野、鍵市、堀口、高橋瞳、山口、得能、高橋良、竹内、吉井、長面川	①グループワーク研修 「もしも、冬の災害などで夜間に陽だまり全体が停電になった時、皆さんはどうしますか？ また何を確保しますか ②陽だまりの郷の防災備品・防災食材の保管場所について③暖房の確保について④照明の代替えについて
陽だまりの郷全体研修 「身体拘束適正化委員会・リスクマネジメント委員会による研修」(zoom)	R4.3.22	安部、浅野、鍵市、堀口、高橋瞳、山口、得能、高橋良、竹内、後藤	①身体拘束適正化委員会による各ユニット事例を用いたグループワーク②身体拘束の理解と職員のストレス解消方法③リスクマネジメント委員会による令和3年度事故、気づき報告の月別報告と評価、事故対応
中空知レク協会研修	R4.1.11 R4.2.8 R4.3.22	得能、堀口	レクリエーションとは、音楽、体操、高齢者レク、折り紙などの作業レク
介護支援専門員研修	R4.1.25 R4.1.26	鍵市	介護支援専門員更新研修

令和3年度（1月～3月） 行事 事業所名： グループホーム陽だまりの郷

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
各ユニット新年会	R4.1.14	27名	安部、鍵市、高橋瞳、得能、浅野、竹内、後藤、高橋ゆ、吉井、入居者18名
節分レク	R4.2.3	27名	安部、鍵市、曾我部、得能、山口、浅野、竹内、後藤、杉原、入居者18名
開所式	R4.3.25	26名	安部、鍵市、高橋瞳、得能、山口、浅野、竹内、後藤、高橋良、斎藤、入居者16名

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名：小規模多機能ホーム陽だまりの郷)

(全体総括)

2月に新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、職員、利用者ともに大変な思いをしましたが、重症者を出さず再開することができました。また、感染症の影響で職員不足で大変な事業運営となりましたが、そのような中でも職員間の情報共有をしっかりと行い、チームワークがより強固なものになりました。
 全国的にも、いまだ感染者数が減少していかない状況ではありますが、今回の経験を活かし感染症に対する再発防止も検討することが出来ましたので、今後に活かしていく次第です。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
職員の間が明るく元気に仕事ができるように環境を整える。	退職者数	0名	5名	次年度も仕事が原因で退職者がでないよう、個別面談や業務改善を図り働きやすい環境作りをしていく

【運営報告】

事業所名： 小規模多機能ホーム陽だまりの郷

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		870	899	870	870	899	870	899	870	899	899	841	899	10,585
延利用人数	R2	842	868	840	844	868	840	878	870	878	868	750	847	10,193
	R3	838	899	870	870	880	869	899	850	869	899	756	868	10,367
稼働率	R2	96.8%	96.6%	96.6%	97.0%	96.6%	96.6%	97.7%	100.0%	97.7%	96.6%	89.2%	94.2%	96.3%
	R3	96.3%	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%	99.9%	100.0%	97.7%	96.7%	98.7%	89.9%	96.6%	97.8%
事業活動収入計	R2	6,527	6,471	7,012	6,237	6,622	6,712	7,257	7,449	6,268	7,428	6,099	6,196	80,277
	R3	7,815	7,222	7,989	7,557	7,419	8,074	8,038	7,628	7,481	7,383	8,049	6,758	91,412
当期資金収支差額		1,920	1,214	2,357	1,539	1,760	2,324	2,182	1,576	-128	1,427	2,250	-2,051	16,372
職員数	40時間	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	-
	パート	7	7	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	-